

桜島の火山活動解説資料

福岡管区気象台

地域火山監視・警報センター

鹿児島地方気象台

＜噴火警戒レベル3（入山規制）が継続＞

本日（25日）01時09分に南岳山頂火口で爆発が発生し、やや多量の噴煙が火口縁上2,300mまで上がり、南西方向に流れました。この噴火に伴い、火砕流が南岳山頂火口の南西側へ約1.8km流下しました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は5合目（南岳山頂火口より1,000mから1,300m）まで飛散しました。

桜島では、南岳山頂火口を中心に、噴火活動がさらに活発化する可能性があります。

【防災上の警戒事項等】

南岳山頂火口及び昭和火口から2kmを超えた居住地域近くまでの範囲では、大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

○ 活動概況

・ 噴煙など表面現象の状況（図1、図2、図4-①②）

桜島では、本日（25日）01時09分に南岳山頂火口で爆発が発生しました。この噴火に伴い、火砕流が南岳山頂火口の南西側へ約1.8km流下しました。噴火に伴い、やや多量の噴煙が火口縁上2,300mまで上がり、南西方向に流れました。弾道を描いて飛散する大きな噴石が5合目（南岳山頂火口より1,000mから1,300m）まで飛散しました。

桜島で火砕流が1kmを超えて観測したのは、2018年6月16日の南岳山頂火口の噴火で1,300m流下して以来です。

・ 地震や微動の発生状況（図4-⑤⑥⑦）

火山性地震は少ない状態で経過しています。噴火に伴う火山性微動が発生しています。

この火山活動解説資料は福岡管区気象台ホームページ（<https://www.data.jma.go.jp/fukuoka/>）や気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

（<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>）

この資料は気象庁のほか、国土地理院、九州地方整備局大隅河川国道事務所、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び鹿児島県のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』『基盤地図情報』を使用しています。

・地殻変動の状況（図3）

桜島島内に設置している伸縮計では、昨日（24日）23時頃から山体の膨張が認められましたが、本日01時09分の爆発により収縮しました。



図1 桜島 警戒が必要な範囲

南岳山頂火口及び昭和火口から2kmを超えた居住地域近くまでの範囲では、大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。



図2 桜島 4月25日01時09分の南岳山頂火口の噴火の状況（中央港新町監視カメラ）

火砕流が南岳山頂火口の南西側へ約1.8km流下しました（黄破線内）。弾道を描いて飛散する大きな噴石が5合目（南岳山頂火口より1,000mから1,300m）まで飛散しました。噴火に伴い、やや多量の噴煙が火口縁上2,300mまで上がり、南西方向に流れました。

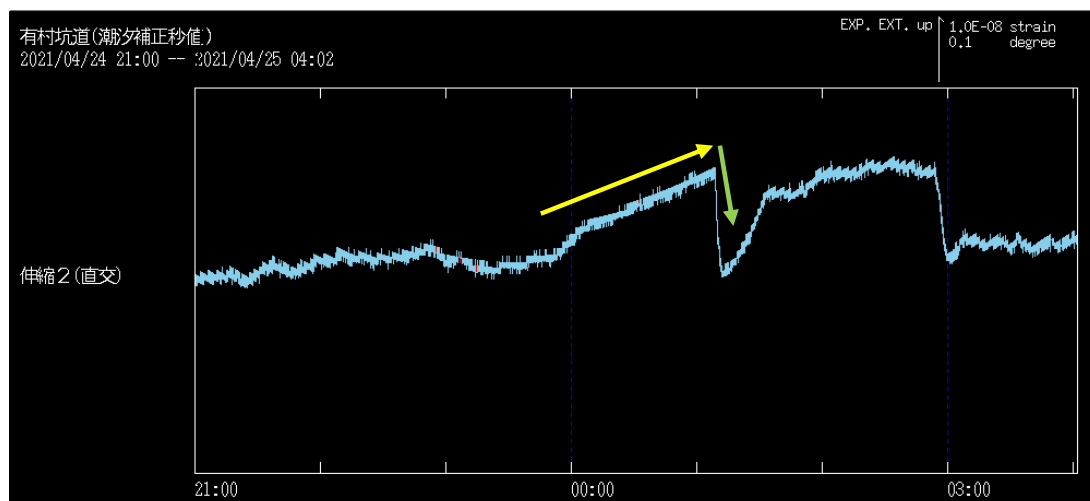


図3 桜島 伸縮計による地殻変動の状況

（2021年4月24日21時～25日4時、有村坑道観測点（大隅河川国道事務所設置））

桜島島内に設置している伸縮計では、24日23時頃から山体の膨張が認められました（黄矢印）が、25日01時09分の爆発により収縮（緑矢印）しました。

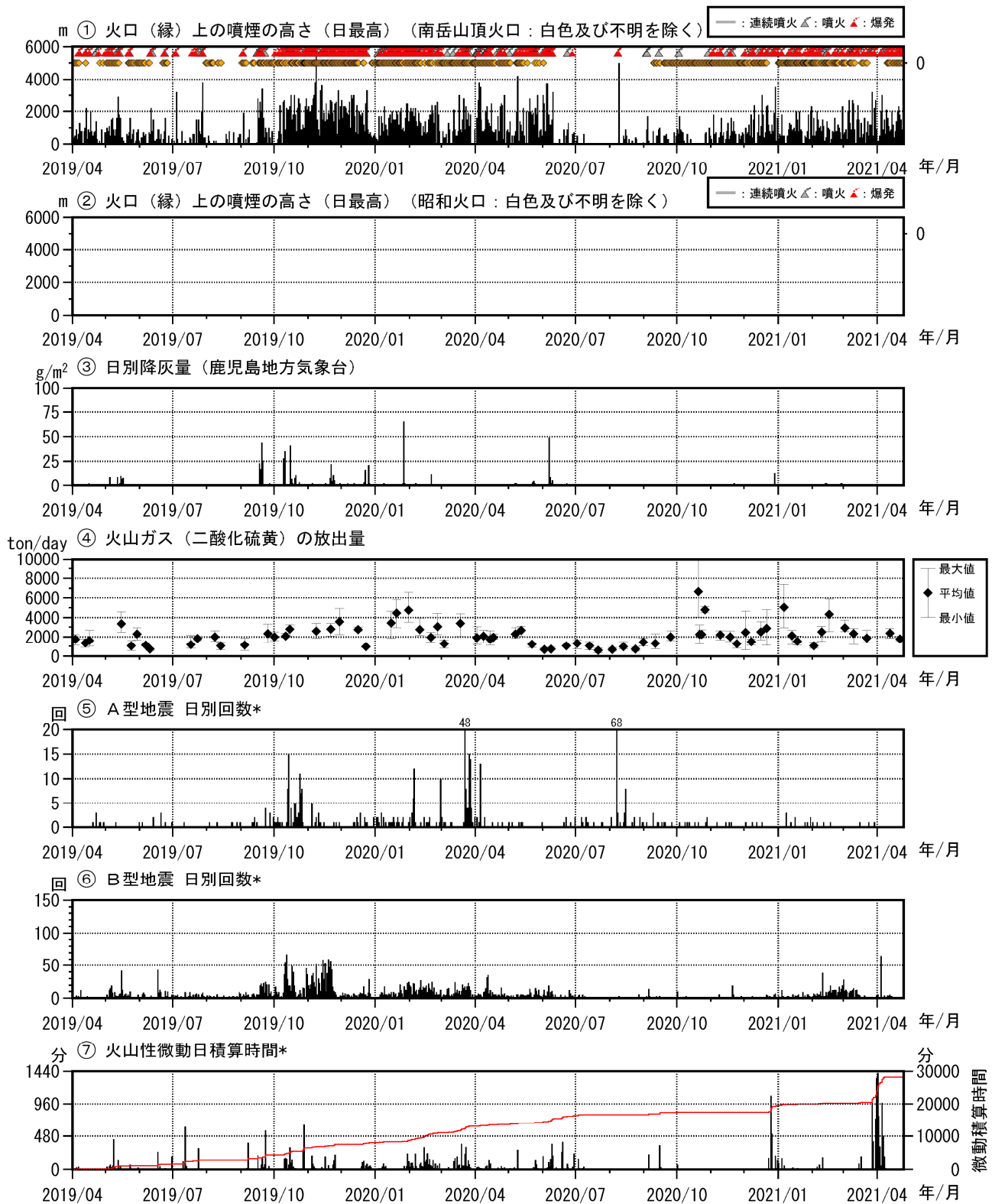


図4 桜島 活動経過図（2019年4月～2021年4月24日）

- ・火山性地震は少ない状態で経過しています。
- ・噴火に伴う火山性微動が発生しています。

*「あみだ川及び横山観測点」で計数（計数基準 あみだ川：水平動 $2.5 \mu\text{m/s}$ 以上 横山：水平動 $1.0 \mu\text{m/s}$ 以上）

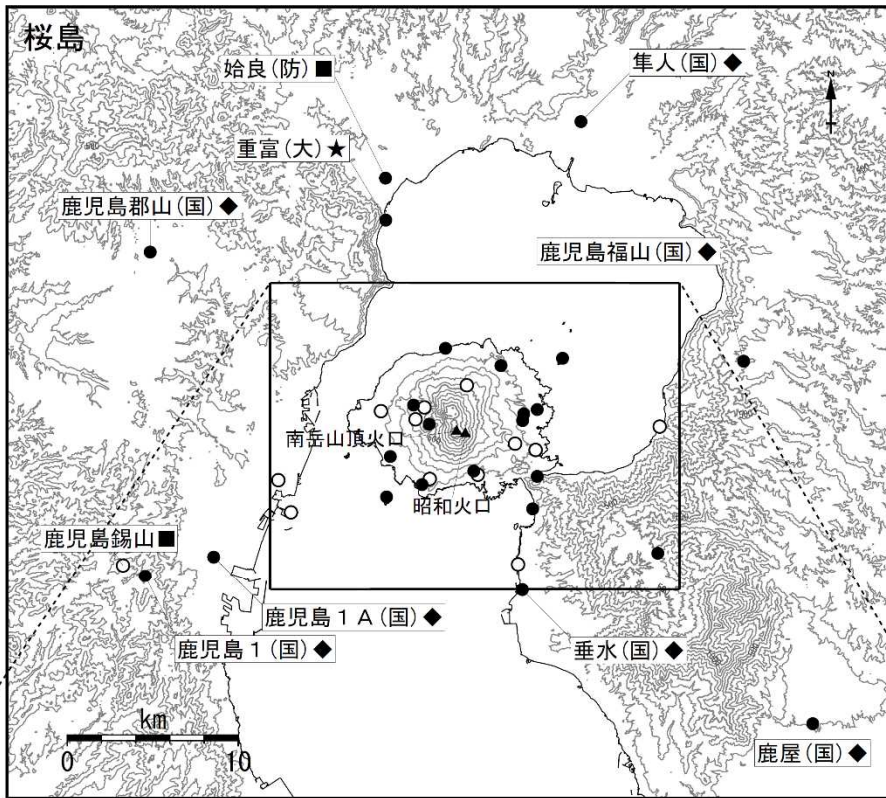


図5 桜島 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
（国）：国土地理院、（大）：大隅河川国道事務所、（京）：京都大学
（鹿）：鹿児島大学、（防）：防災科学技術研究所